

ミュージズ NO.13 平和のための博物館市民ネットワーク通信

発行：2004年9月

事務局：立命館大学国際平和ミュージアム

館長：安斎育郎

編集：山辺昌彦、山根和代

603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

Tel: 075-465-8151. Fax: 075-465-7899 <http://www.ritsumeai.ac.jp>

11月27日~28日に東京で「平和のための博物館・市民ネットワーク」の会議を開きます。また来年スペインで開催される平和博物館国際会議について、お知らせします。

平和のための博物館・市民ネットワーク 第4回全国交流会のお知らせ

2004年11月27日(土)と28日(日)に、東京都江東区夢の島3-2の夢の島公園にある「ぶんぶ 東京スポーツ文化館」(JR京葉線・地下鉄有楽町線・りんかい線「新木場駅」下車徒歩10分。地下鉄東西線「東陽町駅」からバス夢の島下車徒歩3分)で、平和のための博物館・市民ネットワーク第4回全国交流会を開催します。

日程は以下の通りです。

11月27日

午前10-12時 東京大空襲・戦災資料センター見学

午後2-5時 交流会(「ぶんぶ」研修ルームB)

午後5-6時 都立第五福竜丸展示館見

学 午後6-8時 懇親会(「ぶんぶ」レス*

トラン)

11月28日

午前9-12時 交流会(「ぶんぶ」研修ルームB)

午後2-4時 東京大空襲・戦災資料センター見学

宿泊は「ぶんぶ」で可能です。希望者は都立第五福竜丸展示館の安田和也さんにFAX(03-3521-2900)で申し込んで下さい。料金はツイン2名利用で1名5500円です。

現在、次の方たちが報告されることが決まっております。まだ可能ですので、報告を希望される方は事務局の山辺へ10月22日までに申し込んでください。

日本機関紙協会埼玉県本部事務局長の二

橋元長氏：「『戦争の悲惨さを知る、平和の尊さを学ぶ』から、平和の担い手の育成へ～『戦争展』企画の推移と今後の課題」

* 「女たちの戦争と平和資料館」建設委員事務局長の渡辺美奈氏：「女たちの戦争と平和資料館とアクティブミュージアム運動」

* 立正大学名誉教授藤田秀雄氏：「平和のための行動の学習」

* 長岡戦災資料館企画運営委員の峰村剛氏：「なぜ、長岡市が空襲されたかの考察と被害が拡大した理由」

* 愛知教育大学南守夫氏：「ドイツの軍関係戦争展示をめぐって～ベルリン・ガトウ空軍博物館と国防軍展について～」

* 平和友の会川畑康郎氏：「新しい出会いと交流のひろがり～2004年5月ヨーロッパ

平和ツアー体験」

平和友の会片山一美・神原喜久恵・庄田志津子氏：「立命館大学国際平和ミュージアムにおける市民活動としての平和友の会」

* 京都教育大学村上登司文氏：「戦争について展示する博物館 - 平和博物館と軍事博物館の社会的比較 - 」

* 平和資料館「草の家」金英丸氏：「戦争の記憶、戦争責任を考える若者たち」

なお、2005年1月8日〔土〕～9日〔土〕に、「平和のための戦争展」運動経験交流のつどいが埼玉県浦和駅周辺で開催されます。

また、2005年夏には、長岡市で「第35回空襲・戦災を記録する会全国連絡会議」が開催されます。

休に合わせてくださいました。）

* 場所：スペインのゲルニカ平和博物館

* テーマ：「平和博物館：記憶、和解、芸術と平和への貢献」

* テーマの3つの柱

第五回平和博物館国際会議について

山根和代

第五回平和博物館国際会議について、重
要なお知らせがあります。

1. 芸術の平和の文化への貢献
2. 平和博物館は、世界の和解の種（元）
3. 世界平和の構築に重要な記憶

* 開催日時：2005年5月1～6日

（日本人が参加しやすいように、5月の連

国際会議は、バスク語、スペイン語、英語で行われます。

上記の3つの内容で、発表者を求めています。原稿は、A4サイズで5~10枚(Times New Romanで文字サイズは12)。発表者に関する説明と、5~10行の要旨が必要。発表の申し込み締め切りは、2005年1月10日です。諮問委員会で発表者を決め、後ほど報告集を出版する予定です。

5月7~8日に、カタロニア、バレンシアの平和博物館への小旅行を検討しています。

世界各地の平和博物館について展示をする予定です。そのために下記の内容を、11月30日までに、ゲルニカ平和博物館にお知らせ下さい。

平和博物館の名前、住所、館長、いつから国際ネットワークに所属しているのか、取り組んでいる課題、活動内容の簡単な説明、どのような活動をしているのか(訪問者のガイド、ワークショップ、記録など)、平和博物館に関する案内(パンフ)、平和博物館のある場所を示した写真か絵(開会式で使用)、日本の典型的な音楽があるカセットかCD(開会式で使用)、平和博物館に関するビデオまたはDVD(もしあれば)

参加者は、会議の当日ポスターやパンフレットを持ってきてください。

会議の参加登録について

12月31日までに申し込むと、50ユーロ安くなります。

12月31日までに支払う場合：300ユーロ
(同伴者は、250ユーロ)

1月1日から3月30日までの場合：

350ユーロ(同伴者は、300ユーロ)

登録費の内容は、次の通りです。資料代、ランチ、夕食、旅費(小旅行、ゲルニカやビルバオ、サン・セバスチャン、ヴィトリオへの旅費を含む。スペインまでの旅費、ホテル代、カタロニアやヴァレンシアへの旅費は、含まない。)

各平和博物館の代表者(一人。平和博物館国際ネットワークに入っていること。また会議で報告する方)は、登録費を払わなくて良い。登録用紙(必要な方は、山辺氏に御連絡ください。あるいは、下記のIratxeさんに申し込んでください)を送って下さった方には、さらに詳細をお知らせします。

連絡先は、次の通りです。

Mrs. Iratxe Momoitio Astorkia
Gernika Peace museum Foundation
Plaza de los Fueros 1
E-48300 Gernika-Lumo

Bizkaia, Euskadi, Spain

Tel: +34 94 6270213

Fax: 34 94 6258608

Email:

[info@vinternationalconferenceofpeacemu
seumsquernica.org](mailto:info@vinternationalconferenceofpeacemu
seumsquernica.org)

[www.vinternationalconferenceofpeacemu
seumsquernica.org](http://www.vinternationalconferenceofpeacemu
seumsquernica.org)

原稿募集

英文の *Muse* を、12 月に海外の平和博物館に発送します。日本各地の平和博物館、資料館などのニュースを載せますので、「草の家」に原稿や資料を送って下さい。

(字数は、1000 字前後)

780-0861 高知市升形 9 - 11

「草の家」国際交流部 山根和代

Tel: 088-875-1275 Fax: 088-821-0586

GRH@ma1.seikyou.ne.jp